

九月議会

各議員が通告予定の
一般質問の課題です



木村ともりのり

1、生活保護をめぐる問題

貧困化の中、孤立死や餓死の増加で権利としての生活保護制度が厳格化し、抑制の見直しが進められていることは大きな問題である。

2、いじめ問題をめぐる状況

各地でいじめによる深刻な問題が出ている。教育現場や、行政での対応も問われている。

3、住宅リフォーム助成制度の確立を

不況のなか、各地で住宅リフォーム助成による地域経済の確立が問われている。

4、放射能汚染の拡がり

通学路や、給食食材をはじめとする地域の農産物を的確な測定と対応を求める。



渡辺まさよ

1、高すぎる国保税は引き下げを

国保税の納付書が7月市民の皆さんへ配布された。久喜市はこれまでも国保税が高く、滞納率も高かった。しかし、今回の改定でも、所得200万円4人家族、所得300万円4人家族のいずれのモデルケースも埼玉県で1番高いことがわかりました。これについてどのように考えているのか。

2、「所在不明児童」について

児童の所在不明児が問題になっている。久喜市ではどれくらいいるのか。対応はどうしているのか。

3、高齢者の見守りネットワークについて

どのように構築していくのか。

杉野おさむ



1、「冬期の漏水、通年通水」で

市内の環境とみどりの保全を

田んぼに冬場も水を入れて豊かな土壌と自然の生態系維持をはかる取り組みが全国で進んでいます。

2、開発・建設行政の改善を

軟弱地盤箇所に木造住宅を立てる建築主は、地盤調査の内容も結果も知るべきがない。「地盤調査報告書」を建築主に手渡せるよう添付を義務付けすることを条例化しよう求める。

3、東鷲宮駅西口の有料駐輪場建設に異議あり

住民利用者の声を聞き、合意を前提で再検討を利用者への説明会では行政側の「聞く耳を持たぬ姿勢」が明らかだった。急がずに耳を傾けよ

4、市街化調整区域での開発行為に対して

行政は、法と地元住民の要望双方を尊重せよ

鷲宮地域では、農地転用の許可もせず、「現況優先」で開発が進められている箇所がある。騒音・振動被害の解決と併せて総合判断で改善を進めよ。

石田としはる



1、下水道整備時に舗装を

私道を市道に採納するにあたり「舗装」という条件があるが、「舗装」については下水道整備時に市の負担で実施してもよいと思うがどうか。

2、防災無線難聴地域解消を

災害時にたよりにするのが「防災無線」です。難聴地域解消に向けた取り組みについて伺います。

3、県立小児医療センター移転

久喜市として存続の声を

県立小児医療センター移転について移転の進め方として、一旦全機能を移転し、その後必要と考えられるものを新たに現地に設置するとしています。

久喜市民の命、とりわけ小児医療を考えたとき、今こそ県に対し、現地の医療体制充実のために声をあげるときだと考えます。

4、校給食の運営方式について

学校給食運営方式は統一せず、現状の方式継続も選択枝の一つとしてあってよいと思うが、市の考えはいかがか。

5、生活道路の整備について

砂利での整備から舗装へ切り替えるべきでは。

住民の願いを全力で届けます

被災地ボランティア報告

石田議員

(in 石巻市)



後ろに女川港を見る

議員団を代表して現地派遣



焼けたされた門脇小学校。裏山にみんなで逃げたので犠牲者は出なかった。野球の練習に汗を流している

みんな あつまれ～V

石巻仮設住宅へ

震災から一年半、仮設住宅で暮らしている方に元気を届けようと、ボランティアに出かけました。久喜から約5時間石巻に到着。訪問したのは200個規模の仮設住宅、アイスクリーム作りでは、お母さんと一緒に20人ぐらいの子どもたちが集まり楽しいひと時を過ごしました。

ボランティアは地域の祭りとともに

8月11日は、全国の被災地で「線香花火」をともそう！と仮設住宅でも取り組まれました。そのあと、私たちの出番で、寄付してもらった沢山の花火を打ち上げました。

多くの方が仮設住宅に暮らし一年になるとのこと。明るい笑顔がいっぱい広がり、コミュニケーションの広がりを感じました。

翌日「流しそうめん」を取り組み、「こんなの初めてー」の声が、子どもたちや大人の人からも聞かれ、来て良かった！と実感。皆さんありがとうございました。

被災地復興支援は

いまも

急務

県立小児医療センターの移転問題

を考えるシンポジウムが開かれます

さいたま市岩槻区にある、県立小児医療センターが新都心へ移転する問題で上田知事は、一旦全機能を移転した上「一部機能を残す」としながら、その内容は何ら明らかにしていません。このような中、関係者と有識者によるシンポジウムが開催されることになりました。

シンポジウムでは、この問題の本質と今後の展望について検討する機会にしたいとしています。是非多くの方が参加されるようご案内致します。

開催日

2012年9月9日(日曜日)13時30分より、
県民活動総合センター(伊奈町)にて

開催の呼びかけ人には次の方が名前挙げておられます。

- 浅子かおい (医師:小児科)
- 川岸景子 (NPO 法人あかり代表)
- 田中岑夫(ミ材) (さいたま市岩槻区自治会連合会)
- 成田例弘 (蓮田市医師会長)
- 福島聖二 (幼稚園長:学校法人ヨハネ学園理事長)
- 本田 弘 (済生会栗橋病院院長補佐、NPO 法人医療制度研究会副理事長)

シンポジウムのパネラーには

- 増田 剛 (医師・医療生協さいたま埼玉協同病院院長)
- 秋山宇代 (社会福祉法人みぬま福祉会理事)
- 牧野 浩 (埼玉県高等学校教職員書記次長)
- 藤田けい子 (県立小児医療センターの存続を求める患者家族の会代表)

コーディネーター

- 渡辺繁博 (埼玉自治体問題研究所事務局長)

実行委員会事務局長 関口昌男 白岡町小久喜 844-3 電話 0480-92-8353

平成23年(2011年):2月末における
石巻市の人口と世帯数

人口:162822名 世帯数:60928

(石巻市のHPより)

ほぼ久喜市と同じくらいの人口でしょうか。

久喜市の人口 155880人 世帯数 61220

2012/7/31 時点の石巻市の被害状況

※ 宮城県、復興庁 HP のデータより

直接死:3236名 災害関連死:213名

死者数の合計:3449名

行方不明者数:491 住宅、建物被害(全壊数+半壊数):33378

仮設住宅建設完成戸数:7298 (完成度 100%)

仮設住宅建設箇所(団地数):131

こども議会開催される

☆23日(木)市役所議場でこども議会が開催され、小学生12名、中学生5名が市に要望や提案を堂々と質問しました。(内容詳細は次回で。)